



第88期中間報告書

自:2020年4月1日 / 至:2020年9月30日

0テレホールディングス

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。また、未だ終息の道筋が見えない新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々にお悔やみを申し上げるとともに、罹患された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

当第2四半期の連結決算はコロナ禍で大きな影響を受け、中間決算として12年ぶりに赤字決算に陥りました。株主の皆様にはご心配をおかけし、誠に申し訳ございません。

この難局をグループの総力を挙げて乗り切ると同時に、コロナ後を見据えて、トップカンパニーであり続けるための新しい成長戦略を策定しました。改革は①デジタル化の加速②収支構造の抜本的な見直しと生産性向上③グループ事業の強化ーの3本柱で構成されています。2020年代に当社グループが飛躍的に発展を遂げていく道筋を示したもので、改革を強力に推進していく決意です。

当社グループの基幹会社である日本テレビ放送網は、地上波において2020年度もゴールデン帯・プライム帯のレギュラー番組を中心に好調を維持し、個人視聴率で9年連続の上半期三冠王を達成しました。動画配信事業において、定額制配信サービスHuluでは有料会員数を大きく

伸ばすなど堅調な成長を遂げているほか、映画事業でも「今日から俺は!!劇場版」が9月までに観客動員で400万人、興行収入で52億円を突破する大ヒットを記録しました。当社グループは「最強のコンテンツ制作集団」として今後も積極的に取り組んでいく方針です。

当社は継続的で安定的な株主還元を行うことを基本方針としてきました。このような厳しい経営環境ではありますが、これまでの方針を踏まえ、当期の中間配当につきましては1株10円とさせていただくことといたしました。株主の皆様には、当社の経営方針にご理解をいただき、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年11月



日本テレビホールディングス株式会社

代表取締役 会長
大久保 好男



代表取締役 社長
杉 山 美 邦



代表取締役
小 杉 善 信

CONTENTS 目次

株主の皆様へ	01
財務ハイライト	02
番組	03
24時間テレビ・スポーツ	04
報道・技術	05

Hulu・MR事業・海外事業	06
日テレHR・花火IoT事業・VTuber事業・eスポーツ事業	07
映画・通販・イベント	09
ティップネス・アンパンマンこどもミュージアム	10

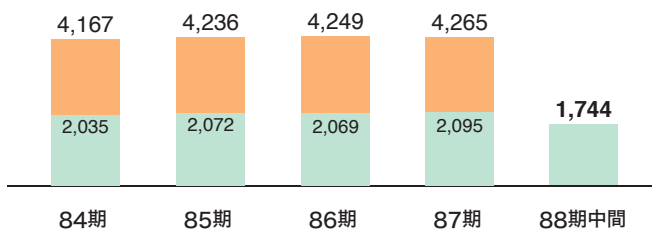
財務ハイライト

単位: 億円

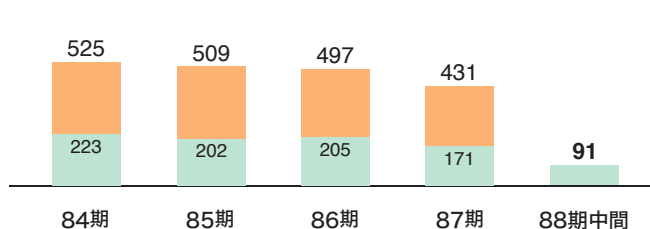
科目	期別	84期 2016年度	85期 2017年度	86期 2018年度	87期 2019年度	88期(中間) 2020年度
売上高	(中間)	2,035	2,072	2,069	2,095	1,744
	(期末)	4,167	4,236	4,249	4,265	(予) 3,760
営業利益	(中間)	223	202	205	171	91
	(期末)	525	509	497	431	(予) 200
経常利益	(中間)	252	241	244	207	111
	(期末)	581	612	573	492	(予) 230
親会社株主に帰属する 当期純利益	(中間)	181	104	171	136	△56
	(期末)	407	374	387	305	(予) 10
純資産		6,557	7,049	7,469	7,517	7,692
総資産		8,486	8,850	9,414	9,320	9,543

88期の期末は予想値

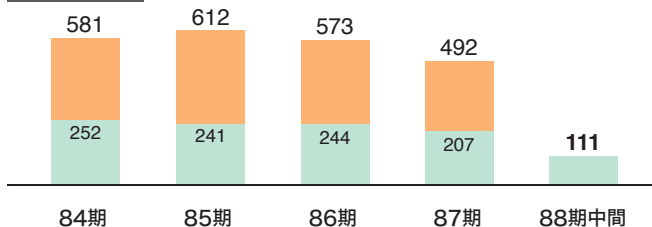
売上高



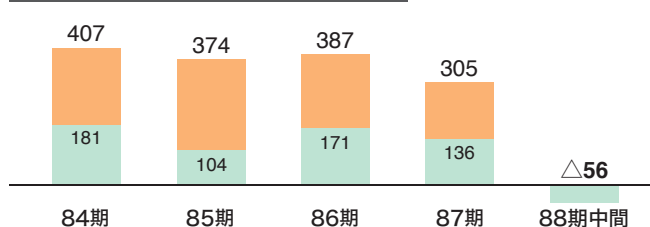
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益


■ 中間 ■ 期末

詳細は当社ホームページをご覧ください。

日本テレビ IR

検索

番組

上半期 9年連続三冠王達成!

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2020年上半期の編成変更は前例のない規模となりました。スポーツイベントの延期や連続ドラマ撮影中止に伴って過去作を特別に編成。緊急事態宣言当日はゴールデン帯・プライム帯4時間の特番も放送しました。収録時間の短縮やリモートツールの活用等、感染防止の工夫をしながら放送を継続、その手法は生活者からも支持を得ています。個人視聴率は順調に推移し、全日帯・ゴールデン帯・プライム帯でトップとなり、9年連続で上半期視聴率三冠王を獲得しました。4月にスタートした「有吉の壁」は大きな

話題となり、配信分野でも成果を上げ、さらにクライアントニーズに応じたオリジナルCMやデジタル施策も展開予定です。レギュラーバラエティ番組の上半期視聴率ベスト10には「世界の果てまでイッテQ!」等の日本テレビ8番組がランクインしました。また新しい生活様式に対応する内容で製作・放送した「24時間テレビ」は、1分以上視聴した人数を計測する「到達人数」で約8,145万人を記録しました。2020年4月より全国視聴率・視聴人数の新たな計測が始まり、「より多くの人に、より良い番組を見てもらう」施策を推し進めて

います。10月改編のテーマは、これまでの「タイムテーブルの新化と深化」「テレビをオフからオンにさせる」に加えて、テレビを視聴しない「オフ層にも日テレ系コンテンツを届ける」としました。これからも生活者が積極的に視聴したくなるコンテンツを開発していきます。

日テレ
年度
視聴率
(上半期・個人)全日
6:00~24:00

4.8%

ゴールデン
19:00~22:00

7.4%

プライム
19:00~23:00

7.0%



「有吉の壁」毎週水曜日 19:00~19:56放送

土曜ゴールデン帯の強化!

「I LOVE みんなのどうぶつ園」
毎週土曜日 19:00~19:56放送

土曜日に10年ぶりとなる新番組が誕生。全世界・全国津々浦々から集まる、リアルな「どうぶつニュース」を軸にし、動物が大好きになる新たなバラエティです。MCは相葉雅紀、そして旬な動物大好きゲストが、毎回参加します。令和を代表する家族視聴コンテンツを目指します。

「世界一受けたい授業」
毎週土曜日 19:56~20:54放送

良質な教養バラエティの内容は維持し、「世界一受けたい授業」が令和流にリニューアル。コア層が知りたい授業、情報量と映像にこだわる授業…今、知りたいことをテンポよく、楽しんで学べる授業に一新し、“子供が親と一緒に見たい”令和の教養バラエティとして新たに生まれ変わります。

24時間テレビ コロナ禍の日常でも「新しい一歩」を踏み出そう



今年のテーマは「動く」



史上初、両国・国技館「無観客」での開催

過去42回の伝統を繋ぎ、来年以降も持続可能な新しい24時間テレビの価値を「動く」というメッセージに込め、「新しい日常での1回目」として、チャリティー番組の原点回帰を目指しました。対面募金ができない

今年は、離れていても、いつでもご参加いただけるよう、キャッシュレス募金の取り組みを強化。走った分だけ募金する「高橋尚子&チームQの募金ラン」をはじめ、チャリティー企画を多面展開しました。また、ステイホームが楽しくなる「おうち体操」「ステイホーム盆踊り」「シークレット花火リレー」などコロナ禍でも元気が出る・笑顔になる企画も数多く放送しました。今年度の寄付金総額は8億6,626万9,827円で、そのうちキャッシュレス募金は昨年に比べ約2億円増。全社を挙げた「総力戦」で感染拡大防止に努めながら番組制作を行い、コロナ禍の日常でも新しい一歩を踏み出す「動く」を様々な挑戦と共に伝えました。

スポーツ プロ野球 史上初の無観客試合で開幕

2020年のプロ野球は、当初3月20日の開幕が予定されていましたが、新型コロナウイルスの影響を大きく受けました。レギュラーシーズンの試合数は143試合から120試合へ短縮、セパ交流戦・オールスターゲーム等は中止となり、開幕は約3か月遅れの6月19日となりました。プロスポーツの先陣を切ってプロ野球が開幕したものの、7月9日までは無観客試合となり、テレビ中継スタッフにとっても初めての経験が続きました。打球音や選手の声といった“無観客ゆえに聞こえる音”の楽しみ方を模索したり、試合中にファンの声や思いを生で選手に届けられるよう東京ドームの大型ビジョン演出と連動したり…。球場に行きたくても行けないファンの皆さまにとっては、中継映像で楽しむしかない状況の中、テレビの責任を痛感する機会にもなりました。



～WITH FANS～ 無観客試合が行われた東京ドーム

報道

視聴者に寄り添い、未知なる「新型コロナ」を徹底報道



連日、視聴者に呼びかけるnews zero有働キャスター

年明けから国内でも始まった新型コロナウイルスの感染拡大。流行の「波」が繰り返され、収束が見えないなか、報道局では、全国の感染状況、政府・自治体の取り組み、人々の行動変容、経済活動への影響、検査の問題など、連日コロナ報道を続けています。4月に発せられた史上初の緊急事態宣言については、「宣言発出の準備表明」を他社に先駆けて報道しました。また、学校の休校要請をめぐる政策決定の舞台裏で、政府と専門家の間に溝が生じていることを明らかにしました。国外でも、中国・武漢で独自取材。治療にあたった医師から「死亡診断書には嘘を書くよう指示された」と、中国当局が隠ぺいを行っているとの生々しい証言を放送しました。一方、差別と偏見が社会問題化していることを受け、報道局では、医療従事者の生の声や、問題を乗り越えるための実践例を伝えています。また、出演者は、医療従事者への感謝を示すことの大切さを視聴者に呼びかけています。

「Nドキュ」は50周年

NNNドキュメントは、未成年の性被害をテーマにした2回の放送で、被害者の苦しみを伝え、法律の不備を問い、第46回放送文化基金賞の「番組部門・テレビドキュメンタリー番組」で最優秀賞を受けました。また、今年50周年を迎えたNNNドキュメントは、日本記者クラブ賞特別賞を受賞しました。「社会派ドキュメンタリー番組を50年間も継続させることは、放送界の常識を超える偉業である」と、NNN各局の半世紀にわたる努力が高く評価されました。

毎週日曜日 24:55～放送
日本テレビほか NNN系列 全国放送

技術

中継現場での新型コロナ感染防止策や業務効率化の実験

スポーツ中継の現場でも様々な新型コロナ感染防止策を進めています。例えば、サッカー中継では、スタジアムの映像や音声を全て伝送、本社サブコンでスイッチングや音声ミキシングを行うことで、中継車内の作業人数を減らすトライアルを行っています。また、リモートワークが推奨される中、自宅にいても社内システムにアクセスし、番組制作が行えるアプリを開発。技術統括局は、業務効率化の実験研究に積極的に取り組んでいます。



本社サブコンではアクリル板を設置し飛沫を遮断

Hulu

地上波連動、オリジナルコンテンツ施策で好調

コロナ禍による在宅時間の増加や、在宅応援の無料配信施策により、順調に会員数を伸ばしています。ソニーミュージックとJYPによる共同プロジェクト「Nizi Project」の配信は「スッキリ」など地上波番組との連動効果で社会現象になり、NiziUのメンバー決定後は独占コンテンツ「NiziU 9 Nizi Stories」の配信も行っています。ドラマ「今日から俺は!!」は未公開映像の独占配信を行っており、映画公開との相乗効果で放送から2年経っても根強い人気を維持しています。ヨーロッパ最大級の制作会社と共同製作したHuluオリジナル「THE HEAD」などオリジナルコンテンツの制作も強化しています。



MR事業

「mixta」スマホアプリなど多角的に展開！



日本テレビが推進する最先端の拡張現実技術で、MR事業を展開する「mixta」。8月の「24時間テレビ」では、スマホアプリ「mixta AR」を使用して出演者のARコンテンツを販売する企画を実施。収益をチャリティーに充てると共に、デジタル施策として多くの視聴者およびユーザーに楽しんでいただきました。AR撮影ユニット「mixta Shot」は、狭い場所でも展開可能な省スペース型が完成。「名探偵コナン」のARコンテンツ販売を行いました。今後、グッズショップなどに設置して収益拡大を目指します。

海外事業

アニメ関連商品で更なる収益拡大へ

2019年12月に中国本土でリリースされた人気テレビアニメ「HUNTER×HUNTER」のスマートフォンゲーム「猎人」※1 (MMORPG) ※2は、今年の7月にサービスエリアを香港、マカオ、そして台湾に拡大しました。リリース後、中国各地で新型コロナウイルスの感染が拡大したものの、在宅率が高まる環境下でサービスを中断なく提供した結果、多くのファンの支持を獲得できました。ゲームの売り上げに連動した印税収入も積みあがってきており、他作品のゲーム化も含め、今後もアニメ商品関連の収益拡大を目指していきます。



※1 猎人：中国語でハンターの意味。 ※2 MMORPG：Massively Multiplayer Online Role-playing Gameの略。 ©POT (Yoshihiro Togashi) 1998-2011 ©VAP・NTV・Madhouse

日テレHR

日本テレビの資産を活かした人材育成事業

「日テレHR」は、動画を活かしたオンライン専用設計の人材育成サービスを展開。コロナ禍の影響を受けず、大手メガバンクや商社、メーカーなど幅広い分野から100件以上の発注を受けました。中には1,000万円超の大型受注もありました。その業績が評価され、日本の人事部「HRアワード2020」プロフェッショナル部門で入賞を果たしました。

<https://www.facebook.com/ntvacademia/>

花火IoT事業

「オンライン花火」を開催!



「WE ♥ NAMIE ONLINE HANABI SHOW supported by セブン-イレブンオンライン」

沖縄で昨年に開かれた安室奈美恵さんの花火大会。コロナ禍の中、今年は“オンライン花火”として9月16日に開催しました。オンライン花火は、実際の花火を打ち上げて収録して「素材化」し、安室さんのライブ映像・架空のバーチャルドーム空間と合わせ、編集・CGにより合成したもの。音楽に合わせ、花火の数や打ち上げ場所、照明・レーザーまでこだわりました。VR映像も配信する新しいライブエンターテインメントとなりました。

VTuber事業

テレビ局初のインフルエンサーネットワークを設立! バーチャルYouTuber事業!

総勢100名以上のVTuberが参加する日テレVTuberネットワーク「V-Clan」が設立されました。「VTuberを次のステージへ」というビジョンを掲げ、多数の番組やイベント、企業とのタイアップを実現しています。7月に中京テレビ等と共催したVTuberのオンラインイベント「Virtual UNIT Fes. VILLS」では、販売されたチケットの数が3,000枚以上に及び、ネット上では大きな“バズ”も起こりました!



eスポーツ事業

コロナ禍のもと、オンラインで活動が継続!

ステイホームが世界的な潮流となる中、eスポーツのプレイヤーや視聴者が増加。デジタルに根差した全く新しいスポーツコンテンツとして成長が加速しました。日テレ傘下のeスポーツチーム「AXIZ」が参加する大会もオンライン形式で開催され、スクリーン越しにeスポーツファンを沸かせました。



映画 「今日から俺は!!劇場版」大ヒット

大ヒットドラマ発「今日から俺は!!劇場版」(福田雄一監督作)は興行収入52.6億円を超え、2020年公開の映画の中で最高記録を樹立(9月27日現在)。日本テレビ及びネットワーク局、グループ各社からの応援を受け、全国に笑いと感動をお届けしました。今年9月以降、一部の映画館は定員100%での上映を再開(12月以降は状況により再検討)。そうした中、11月13日には「ドクター・デスの遺産 -BLACK FILE-」、12月11日には福田雄一監督作「新解釈・三國志」が公開予定で、「今日から俺は!!劇場版」に続く大ヒットを狙っています。



「ドクター・デスの遺産 -BLACK FILE-」 「新解釈・三國志」

2020年11月13日公開

©2020「ドクター・デスの遺産 -BLACK FILE-」製作委員会



2020年12月11日公開

©2020映画「新解釈・三國志」製作委員会

通販 ポシュレ史上最高の上半期

コロナ禍による「巣ごもり需要」が高まる中、ポシュレが得意とする理美容品や健康器具は多くのご注文をいただき、上半期としては、日本テレビ通販史上、最高の売上と利益を記録しました。特に、ポシュレ開発オリジナル商品「乗ってるだけ!ブルブルボーテ」は、大好評を博しました。また、コールセンターの密を減らすため、本店ECで



の購入を強く促したことで、ECでの受注が大きく伸展。ビジネス構造の大きな改革につながりました。

「日テレ ポシュレ」

<https://www.ntvshop.jp/shop/>

イベント

コロナ禍による中止対応と未来に向かって



「バンクシーって誰?展」

2021年8月21日～12月5日
寺田倉庫G1(東京・天王洲)

「ボストン美術館展」「舞台『巖流島』」「丸美屋食品ミュージカル『アニー』2020」「それいけ!アンパンマン ミュージカル」などが中止を余儀なくされました。お客様の感染予防を最優先させた結果とは言え、皆さまにはご心配とご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。今夏に予定されていた美術展「バンクシーって誰?展」は来夏に開催。万全の感染予防対策を行ったうえで、新しい企画をお楽しみいただけるよう準備を重ねてまいります。

ティップネス オンラインフィットネス「トルチャ」スタート!



「torcia」 <https://online.tipness.co.jp/>

フィットネスクラブを運営する株式会社ティップネスは、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言発出を受け、4月～5月に長期休館しました。その後、お客様に安心してご利用いただける施設として、万全な感染予防対策を行い、営業を再開しました。また、8月1日から「オンラインフィットネス トルチャ」をスタート、「好きな場所でお好きなときに」レッスンを体験できる配信サービスで全国規模の事業拡大を目指しています。

アンパンマンこどもミュージアム コロナ禍でのACMの取り組み

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全国5館のミュージアムを2月末より臨時休館とし、感染症対策を講じたうえで、仙台・名古屋・福岡の施設を6月15日から、横浜・神戸の施設を6月22日から再開しました。再開においては、お客様とスタッフの安全と健康を最優先に、ガイドラインに従い一部内容・サービスの変更や休止を行い運営しています。密集した状態を避けお客様同士の身体的距離を保つために、「日時指定WEBチケット」の事前購入制の導入（一部施設を除く）や入口での検温、換気の強化、壁や窓ガラス・床・手すり・お客様がお手を触れる場所の定期的な消毒を行い、安心・安全な環境を保っています。また、アンパンマンたちが登場するステージでは、座席間隔を空け観覧者数を抑えると共に、開催回数を大幅に増やしお客様がアンパンマンたちに会える機会を増やしました。安心して過ごせる環境を整えておりますので是非ご来場ください。



一定の距離を保ち観覧されているお客様



定期的な消毒作業を行っている様子

株主優待「Huluチケット」～ぜひご利用ください!

Huluを1ヶ月間無料で視聴できる「Huluチケット」を同封させていただきました。
記載された視聴コードを入力してご利用ください。まだ会員ではない株主様はこの機会にぜひHuluをご視聴ください。

すでに会員登録していただいている株主様は

●Huluの会員ではないご友人やご家族へのプレゼントとしてご利用ください。 ●クレジットカード払い・ドコモ払い・PayPal・Yahoo!ウォレットを決済方法としてご利用中の場合は併用してご利用いただけます。

※その他決済方法でご利用中は併用登録できません。 ●Huluチケットは、単元株以上を保有している株主様にお送りしています。



会社情報

会社の現況（2020年9月30日現在）

商号	日本テレビホールディングス株式会社 (2012年10月1日付 商号変更)
所在地	東京都港区東新橋一丁目6番1号
設立	1952年10月28日
主な事業内容	株式等の所有を通じて企業グループの 統括・運営等を行う認定放送持株会社
資本金	186億円
発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式総数	263,822,080株

取締役・監査役（2020年9月30日現在）

代表取締役 会長	大久保好男	取締役	渡辺恒雄
代表取締役 社長	杉山美邦	取締役	山口寿一
代表取締役	小杉善信	取締役	今井敬
取締役	石澤顕	取締役	佐藤謙
取締役	一本哉	取締役	垣添忠生
取締役	玉井忠幸	取締役	真砂靖
		常勤監査役	吉田真
		監査役	兼元俊徳
		監査役	村岡彰敏
		監査役	大橋善光

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日
株主名簿 管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
単元株式数	100株

株式に関する手続き

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申し出先について
- 株主様が口座を開設されている証券会社等にお申し出ください。
- なお、証券会社等に口座がないため「特別口座」に記録されている株主様は、「特別口座」の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金の支払について
- 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

0テレビ 日本テレビホールディングス株式会社
NIPPON TV HOLDINGS 〒105-7444 東京都港区東新橋一丁目6番1号

<https://www.ntvhd.co.jp>